

## 七 大学入学者選抜の改善等

### (一) 大学入学者選抜の改善

#### ① 特色ある多様な大学入試の実施

大学入試については、入学者受入方針に基づき「評価尺度の多元化」（学力検査の他、面接・小論文・実技検査などを判定資料とすること）、「入試方法の多様化」（一般入試の他、AO入試や推薦入試などを採用すること）などの改善が各大学において進められ、こうした取組みにより、大学進学希望者の能力・適性等を多面的に判定している。一方で、AO・推薦入試においては、一部で学力不問となるなど、本来の趣旨とは異なった運用がなされているとの懸念も示されている。

#### ② いわゆる「大学全入」時代における高大接続

これまでの入試改善の取組みは、受験競争を緩和し、受験生の負担軽減を図るといふ観点に立つて進められてきた。しかし、いわゆる大学全入時代を迎え、多くの大学において、大学入試の選抜機能が低下し、入試によって入学者の学力水準を担保することが困難な状況になってきている。他方、高校でも、これまでのように、大学入試の存在自体が大学進学希望者の学習意欲を喚起し、高校の指導と相乗して学力を定着させることが困難な状況になりつつある。現在、推薦入試やAO入試は、大学進学希望者が一定の学力を有しているとの前提の下、必ずしも学力検査を課さない形で普及しており、AO入試・推薦入試を実施する学部半数以上が、学力把握に課題を感じているとの調査結果もある。

各大学の入試の在り方、高校での履修状況や評価の在り方がますます多様化する中、大学が大学進学希望者を選抜する時代から、大学と進学希望者が相互選択する時代へと変化してきている。平成二〇年一二月の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」において、大学と進学希望者相互のニーズのマッチングの観点から、高校段階で履修しておくべき科目や取得が望ましい資格など、何をどの程度学んで来て欲しいかなどを入学者受入方針に明示することが求められている。また、今後は高校・大学が選抜だけつながる関係から、客観的できめ細やかな学力把握とそれに基づく適切な指導によって学力向上が図られるよう、共に力を合わせて取り組む関係へと転換することが必要であると提言している。今後は、いかなる入試方法であっても、基礎学力の把握が適切に行われるべきとの認識に立った学力把握措置を講じることが求められている。中教審答申では、その方法の一つとして、高校の指導改善や大学の初年次教育、大学入試などに活用可能な「高大接続テスト（仮称）」を提言しており、今後、高校・大学関係者間で十分な協議・研究が行われることが期待される。

## （二）高等学校卒業程度認定試験の実施

### ①高等学校卒業程度認定試験の概要

文部科学省では、従来の大学入学資格検定（大検）を見直し、平成一七年度から新たに高等学校卒業程度認定試験（以下「高卒認定」という）を実施している。

高卒認定は、様々な理由で大学入学資格を得ていない者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験である。合格者には大学入学資格が与えられるとともに、就職や各種資格試験の受験資格として活用することもできる。

合格するためには、所定の科目のすべてについて合格点を得る必要がある（試験科目・合格要件については表一を参照）。ただし、その者が一八歳に達していないときには、一八歳の誕生日から合格者となる。

また、高等学校等で単位を修得している、実用英語技能検定等の技能審査に合格しているなど、一定の要件を満たしている者については、一部の試験科目について、試験の免除を願い出ることができる。

特集・平成21年度高等教育行政の展望

合格者には合格証書が授与されるとともに、申請により合格証明書、合格成績証明書が交付される。

平成二〇年度は、三万三二六四人（対前年度一四六八人増加）が出願し、一万一〇五二人（対前年度一八〇人増加）が合格している。

②平成二一年度高卒認定実施日程

平成二一年度の試験に係る日程は次のとおりである。

①願書受付

第一回 五月八日（金）～五月二〇日（水）

第二回 九月一日（金）～九月二八日（月）

②試験実施

第一回 八月一日（火）・二日（水）

第二回 十一月四日（土）・五日（日）

③結果発送

第一回 九月四日（金）（予定）

第二回 十二月一日（金）（予定）

表 1 試験科目・合格要件

| 教科   | 試験科目        | 要件                                     |
|------|-------------|--|
| 国 語  | 国 語         | 必修                                     |
| 地理歴史 | 世界史 A・世界史 B | 世界史 A・Bのうち1科目必修                        |
|      | 日本史 A・日本史 B |  |
|      | 地 理 A・地 理 B | 日本史 A・B、地理 A・Bのうち<br>いずれか1科目必修         |
| 公 民  | 現 代 社 会     | 現代社会1科目<br>又は<br>倫理、政治・経済の2科目 } どちらか必修 |
|      | 倫 理         |  |
|      | 政 治・経 済     |  |
| 数 学  | 数 学         | 必修                                     |
| 理 科  | 理 科 総 合     | 5科目のうち2科目必修                            |
|      | 物 理 I       |  |
|      | 化 学 I       |  |
|      | 生 物 I       |  |
|      | 地 学 I       |  |
| 外国語  | 英 語         | 必修                                     |

|           |   |
|-----------|---|
| 合格に必要な科目数 | 8科目（現代社会を選択した場合）<br>9科目（倫理及び政治・経済を選択した場合） |
|-----------|---|